



定 額 一 部 金 貳 錢
 一 月 金 貳 錢
 三 月 金 五 錢
 六 月 金 一 兩
 一 年 金 三 兩
 廣 告 費 另 議
 刊 行 日 期 大 祭 日 休 日 休 日
 社 址 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
 電 話 六 三 〇 三 番

刊 夕 日 一 月 三

常盤論壇
保險は文明の宗教
 栗津清亮

それにも拘らず経済的制
 度の一環として知られて居
 る生命保険は、此物質文明
 の社会に於て、嶄然として
 一頭地を抜いた徳性的制度
 であつて、吾々が之を利用
 するのは、決して自欲致富
 の目的から来たのではない
 吾々は之に依つて妻子子孫
 を窮乏から免れしめ彼等が
 其社会上の地位から落下沈
 淪するを防がうとするので
 ある。取りも直さず吾々の
 永久的生存を計圖するの業

なのである將又之に依つて
 老後の計を盡し子女の教育
 結婚の資を作るも畢竟向上
 の一歩を進める爲めである之
 が動機は智慧と慈愛である
 之を實行するには節制と勇
 氣と犠牲の心情を必要とす
 る而して完全な保険團體は
 之に加入して居る多數者が
 共存共榮の自覺を有するこ
 とを必要とする。公平と正
 義は保険團體の憲章である
 生命保険の働く範圍は斯の
 如く神聖である。之に依つ
 て吾々は創造の主たる神の
 攝理に協ふのである私が生
 命保険を文明の宗教と言つ
 たのは此事である。従つて
 此事業は斯く取扱ふべきも

活版印刷の
 御用命を御
 願致します

鮮美優
 鳴可速敏

所刷印日每常
 五三町橋長町平
 (番〇三六話電)

京都産出瓦斯
 コークス特約販賣 有聲座隣
遠藤パン

酒 清
鶴仙
 石城郡平窪村
松吉屋本店
 電話一四一四番

加藤營業所
 平白銀町十五番地
 振替口座仙臺六二四三番
 電話三二番二五五番

保 險
 神戶火災 平代理店
 東洋火災 平代理店
 共保生命警賣代理店
 御用は電話三二番へ

權 體
關内藥局
 仲間町 商店向 十圓
 櫻町 勤人向 十圓
 柳町 勤人向 八圓
 白銀町 勤人向 十圓
 商店向 十圓

和服一般教授
 持設夜間教授
 生花茶ノ湯作法隨意
 自炊ノ便アリ
 平鍛治町吉田屋吳服店向へ
阿部裁縫塾
 電話二四六番

柏屋
 平二丁目
 大廉賣

淋病
 婦人病
 包專門
 川門病
松村村科外
 部科外

速迅
貸切自動車
 番七十四話電
澤芹自動車部
 忠正澤芹主
 女中高給ニテ募集
 但シ十七歳以上
 平町南町

代價拾錢
藤田家傳
 藤田榮助
 平町田町電話三二八番

内小兒科
 花柳科
 病科
 (需應院入)
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話五〇七番

神佛祭葬具一式
 造花製造販賣
 引物一式取扱
 青年團旗學校旗
 其他旗類一式取扱
博盛堂
 店主阿部 修
 平町播磨小路三十番地
 電話(呼出)四四九番

株式賣買
 一入買價高話電一
 株式現物賣買「電略」
駒場四郎商店
 平町田町六八電話四六五番

第二病室
高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新瀉醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町電話五一三番

山古印醫油

元 造 醸
鹽屋山崎合名社會
 番〇一園電
 番七二園話

赤心堂
 平町田町
 電話四七五番

品質優良 適合 量豐富
関内精米所
 平町橋長町電話六一番
 マシタイ達配速早ズラハ拘ニ少多ハ文社御
 スマ願シ試御ハ度一非是

看護婦派出
 の求めに應ず
平町南町看護婦會
 電話三〇七番

濱三郡の警察官……

竹撃の音勇しく健闘

昨日の武道試合

殊勳者には夫々賞品授與

既報第二回濱三郡警察官武道大會は昨日午前十一時より平署演武場に於て開催、室直典、大河内支蔵の兩氏審判の評に先づ勇壯なる個人試合あり次に紅白試合に移つて紅軍勝利を占めたが其殊勳者とも云ふべき優勝者は

一等 植田 木戸徳重
二等 富岡 川島美好
三等 平 高橋敬止

の三氏にて夫々樞村中署長より賞品を授與し左の模範試合あつて午後三時盛會裡に散會を告げた

達成を請願

憲派の偽宣傳

平小鐵道は既報の如く二十六日午前十時平町役場に開催し大正十五年度歳入出豫算其他を附議したが今年度は總體で五萬餘圓の豫算減額なだけに、内容に於て見るべき新

計畫として なく至つて平凡なものであるが、其中でも比較的目新しいものとして二三上げれば、久しい間懸案とされてゐた平小名濱間鐵道布許の件で帝國議會に提出し議會の問題として

建議可決 されてゐる事であらう之が達成を平町から内閣總理大臣及び鐵道大臣に請願する事に満場一致可決した、唯一言附け加へておくことは、平小名鐵道の

布設運動 は石城政友派が片濱鐵道の達成を阻害するための手段であると憲政派は稱してゐるが其れと之を同一視されることは關係民として一寸迷惑すること

東北最初の大型漁船を

江名町で建造

石城郡沿岸地方の海洋漁業界は近時近海漁業より遠洋漁業に移り大型漁船建造の必要に迫られ來つたがこの程江名町太清右衛門氏は豫算三萬五千圓を投じ大型漁船を目下建造中であるが噸數四十噸農林省の補助六千圓を交附されたもので民

平町の修正豫算

卅一圓七十錢減

青年團補助は倍加さる

平町に於ける本年度豫算の修正は歳入に於て雜收入千四百四十八圓七十錢を千四百十七圓に減じ歳出に於ては先づ經常部の役場費三萬六千七百卅五圓七錢とありしを宿直手當や使丁給料を増した結果三萬六千九百六十六圓五拾二錢と改め、土木費は胡摩澤の土留工事を延期して八千八百八拾一圓一錢を八千七百七拾三圓八錢に、傳染病豫防費二千八百八拾八圓七拾四錢を二千九百七圓四錢に、汚物掃除

悪戯な言 を發するにも程度があるとい般有識者は彼等の没常識と無智とに呆れてゐる

石城郡の處女會は基礎が甚だ薄弱

資産が僅か五百圓

石城郡に於ける處女會は大正元年六月之れが設立に關する指示の縣訓令ありて以來漸次各町村にその

設立を 見るに至り更に大正九年六月縣訓令を以て處女會規則標準を示されてよりは一層その設立を促進され最近に於ては団体數四十を突破し會員數また四千人に達するの盛況を示しつつあるが補習教育その他の修養事項、体育及び娯樂の向上社會的職業等會の目的遂行上

郡下を 通じ一ヶ年

平均千圓内外の經費を要するに拘らず現在の基本基金その他資産はその半額なる五百圓に過ぎずして臨時的の事業計畫等は經費關係から常に之を實行し得ざる場合

電話をかける時の注意

一、用談は簡單に要領よく話をします
二、言葉は丁寧に着落ついてはつきり申します。疍高い



家庭欄

警中の卒業式 縣立弊城中學校にては來る八日午前十時より第二十六回卒業證書授與式を舉行すると

氏子總代會

本日公會堂に

石城郡神職會にては郡内の氏子總代を本日午前十時より郡會議室に集め法學博士寛克彦を招聘講演會を催したと

軌道車の鎖に巻き込まれ

幼兒が重傷

石城郡内郷村小島藤田巳之吉二男義秋(三)は廿六日午後四時頃同村日本鐵道事業株式會社警城軌道部長橋停留場に於て車臺の附近で遊戯中之に氣がつかず運轉手

△函館一時間十六分△青森縣湊五十六分△岩手縣平館廿一分△秋田縣能代三十三分△山形廿四分△本縣野澤廿四分△駒込一時間二分△品川五十二分△宇都宮卅四分△横濱廿六分△松本五十四分△静岡縣燒津五十九分△石川縣輪島一時間六分△和歌山縣箕島一時間十四分△三宮一時間廿分

神道宗敬講演 平町

聲は聞きとりにくいものです。そしてあまり送話器のそばで話す事もいけません
三、呼出す場合は、先方が電話口に出られた時にもう一度間違つてゐないかを確かめて自分の姓名を傳へ、改めて用ひきの人を呼んで貰ひます
三、尊長者を呼び出すときはつきり申します。疍高い

消防組頭會議

六日平署にて

平署管内消防組頭會は六日午後一時より平署樓上に開き消防幹部會に關する件、春季消防檢閲日取決定に關する協會費整理に關する件を協議すると

平町人事

▲出生

△新川町一三 阿部直記氏三男直技
△長橋町二九 庄司清七氏次男勉
△仲岡町五四 佐藤政下氏四女花子
△胡摩澤一三二 古川太一氏長男勝彦
△仲岡町四二 松本重原氏長女トキ
△長橋町四七 井出順之介氏長女智惠

軍事訓練

準備調査開始

近く實施せられることにな一般青少年に對する軍事訓練は主として在郷將校並に在郷下士及び上等兵が教

派遣し 或は現役を

配して適宜に行はれる模様であるも縣下には下士以上が一名も居らない村や將校の居ない村等も相當にあるやうに見られて居る